



12月の園だより

令和5年 12月 1日
目黒区立ひもんや保育園長

桜の木の葉も色づき始め、子どもたちが遊んでいる園庭に舞い落ちてきます。3歳児クラスの子がその葉を一枚ずつ拾い集め、ベンチに並べて「これはね、チョコをつけるポテトだよ」と言って泥んこをチョコに見立てて葉っぱに包み「はいどうぞ」と渡してくれました。しばらくしてまた葉っぱを集めていたので「またポテトにするの」と聞くと、「ちがうよ、今度はたこ焼にするんだ」と葉っぱはたこ焼きに変身です。その子の横で友達がお鍋に砂を入れ、「お塩をいれて」とスプーンでかき混ぜ、たこ焼きの準備を始めていたのでその子もたこ焼きにしようと思ったのでしょう。このやり取りを聞いていた4歳児クラスの子がニンジン葉っぱを間引きしたものに砂をまぶして「塩昆布だよ」と見せにきてくれました。見ると本当に塩昆布の様に見えます。そして砂団子に混ぜて塩昆布おにぎりの出来上がりです。子どもは見立てるのが得意で、遊びの中で、いろいろなものをイメージし見立てて、日頃の経験を再現しています。これからもイメージ豊かに再現できるよう環境を整えていきたいと思ひます。

12月の行事

冬子ども会（3・4・5歳児クラス）
中旬 身体計測、避難訓練

※12月29日～1月3日 年末年始休み

1月の行事

新年お祝い会
5歳児クラス懇談会
0歳児クラス懇談会
乳児お楽しみ会（0・1・2歳児クラス）

《脱穀・粃摺り》

「脱穀するよ、稲からお米を1粒ずつとるんだよ」と言ってやり方を伝えました。”ぷちぷち”と音を立てて稲から米が外れていく感覚がわかると「面白い」「すごく取れた」と喜んでいました。「この米1粒がたくさん集まってみんなのご飯になるよ、大事にしてね」と伝えると、机や床に落ちた米粒を拾い始めました。そして活動後に床を見ると米が1粒も落ちていませんでした。自分達で育て作業をした経験から、お米のありがたさを感じたのかもしれない。

脱穀の後はおみすりです。手作業ですり鉢と野球やゴルフのボールを使って行いました。おみが取れてお米が見えると「お米ってこんなに小さかったんだ、だって食べる時はもっと膨らんでいるから」と言うつぶやきが聞こえました。一つひとつの工程を経験して、気づくことがたくさんあるようです。



《ヒョウタンのその後…》

ヒョウタンランプ作りに挑戦しています。ヒョウタンを水につけ、中身を腐らせます。

その後中身をくり抜く作業を行いました。



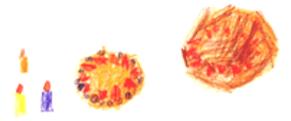
めっちゃくさーい
手を洗ってもくさーい



中はぬるぬるしてるから、割りばしより手の方がやりやすいよ



室内の遊び（0・1・2歳児クラス）



つくし組（0歳児クラス）

室内に体を動かして遊べるように、ハンモックを設定しました。ハンモックの横から覆いかぶさるようにして上半身だけ乗せ足を踏ん張り、保育士の「ユラユラ」という声や歌に合わせて自分で揺らして楽しんでいます。最近では、自分で上半身を入れた後、ゴロリと転がるようにしてすっぽりハンモックの中に入り繭のように包まれながら揺れて、心地よさそうに楽しむようになりました。時には自分で揺らしたのが思いのほか大きくなり、落ちて危険のないよう敷いているマットの上に落ちてしまうこともあります。保育士が「すごい、いっぱい揺れたね」と笑顔で対応すると、なんだか面白くなってきてそのドキドキも楽しむようになり、わざとゴロンと落ちては「あはは」と笑い、また乗っては落ちて、繰り返し楽しむ子も出てきました。

自分で自由に身体を動かせることが楽しくなっている子どもたちです。危険のないように見守ったりさりげなく手助けしたりしながら、子どもたちの“自分で”の思いを大切にしていきたいと思います。



すずらん組（1歳児クラス）

保育士がままごとコーナーのテーブルの上に赤や緑のお手玉を乗せたお皿を置いておくと、「(いらっしゃい) ませー、ませー」とお店屋さんを始める子がいました。「これは何ですか?」と聞くと「パン」と答えるので「ひとつくださいな」とお願いすると「どうぞ」と手渡してくれます。そのやり取りを見ていた周りの子どもたちも、手提げを持って「パンパン」と言いながら買いに来ました。「ちょうだいな」と仕草で伝える子もいます。パンを受け取ってとても嬉しそうにしています。みんなでパンを一緒に食べていると、「せんせい」と保育士にも食べさせてくれる子どももいました。

「おいしいね」と言い合い楽しい気持ちも広がりました。

子どもたちは日々の生活の中で経験したことを遊びの中で再現するようになってきました。保育士も一緒に遊び子どもたちのイメージをくみながら、一人ひとりが好きなことを十分に楽しめるよう見守ってきたいと思います。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

幼児お楽しみ会でシンデレラの劇を見て部屋に戻ると、さっそく布を腰に巻き、スカートやエプロンを何枚も重ねて履いてドレスにしています。保育士が洗濯ばさみをつなげティアラを作ってあげると、嬉しそうに頭に寄せ鏡で自分の姿を見てうっとりして「お姫様になったの」等とスカートの裾を揺らしたり、踊ったりしています。数名がお姫様になって踊っている横では、他の子が「おうちを作りたいの」と言って仕切り板を使って囲い、家にしています。次に、お手玉をフェルトリボンで巻き「これはケーキ、これはチョコだよ」と容器に並べ、「パーティしよう」と友達や保育士を誘ってパーティの始まりです。その様子を見て、踊っていた子も仲間入りし乾杯したり誕生日の歌を歌ったりしながらパーティを楽しみました。

何かになりきったり真似をしたりすることが楽しくなっています。子どもたちのイメージを大切にしながら再現し満足できるよう、保育士も一緒になり楽しんでいきたいです。

